【裏面】の記入方法及び記入例

⑯～㉑障害等の種類と程度欄
該当する事項の「□」を塗りつぶしてください。

※該当する「□」の中を，黒又は青のボールペンで塗りつぶしてください。（塗りつぶすのが難しい場合は，レなどチェックで表示してください。）

障害等の種類と程度												
⑯ 視覚障害				⑰聴覚障害		⑱ 肢体不自由				⑲ 病弱	⑳発達障害	㉑その他
点字による教育を受けている者	良い方の眼の矯正視力が0.15以下の者	両眼による視野について視能率による損失率が90％以上の者	左記以外で視覚に関する配慮を必要とする者	両耳の平均聴力レベルが60dB以上の者	左記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者	体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者	上肢の機能障害により筆記をすることができない者又は困難な者	下肢の機能障害により歩行をすることができない者又は困難な者	左記以外で肢体不自由に関する配慮を必要とする者	慢性の呼吸器疾患，心臓疾患，腎臓疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者	自閉症，アスペルガー症候群，広汎性発達障害，学習障害，注意欠陥多動性障害のため配慮を必要とする者	その他の病気による体調不良等で配慮を必要とする者
□	□	□	□	□	□	□	■	■	□	□	□	□
295	296	297	298	299	300	301	302	303	304	305	306	307

㉒ この欄に，受験に際して配慮を希望する理由（症状及び学校等の授業での状況等）を簡潔に記入してください。

脳性麻痺による右上肢及び下肢障害があります。
字を書くことに著しく時間がかかります。授業ではノートをとることに時間がかかり

㉒受験に際して配慮を希望する理由（症状及び学校等の授業での状況等）記入欄
症状及び学校等の授業での状況等を詳しく記入してください。
㉓～㉖に記載されている受験上の配慮事項以外に希望する配慮事項がある場合には，㉗その他の希望配慮事項等欄に記入して，この欄に記入しないでください。
また，㉕又は㉖の「別室の設定」を希望する者は，必ず希望する理由を記入してください。

㉓～㉖受験に際して希望する配慮事項欄
受験に際して希望する配慮事項の「□」を塗りつぶしてください。

「点字解答」，「文字解答（1.3 倍）」，「チェック解答（1.3 倍）」，「代筆解答（時間延長）」又は「試験時間の延長（1.3 倍）」を希望する場合は，リスニングにおける延長方式（連続方式又は音止め方式のいずれか）を選択し，塗りつぶしてください。
※リスニングを受験しない場合もどちらかを塗りつぶしてください。

リスニングにおいてICプレーヤー付属のイヤホン以外の音声聴取の方法を希望する場合は，希望するものを一つ選択し，塗りつぶしてください。

誤って塗りつぶした場合は，二重線を引き，訂正してください。

㉗その他の希望配慮事項等欄
この欄には㉓～㉖に記載されている受験上の配慮事項以外に希望する配慮事項を記入してください。

㉗その他の希望配慮事項等（記載事項以外で，希望する配慮事項があれば簡潔に記入してください。）

試験時間中の薬の服用。
座席を試験室正面に向かって左側に指定。

独立行政法人大学入試センター